

介護の仕事は間口が広くて、奥が深～いんです

介護現場で求められる人材とは?

- ◆ 高齢者の気持ちを大切にでき、やさしい気持ちで人に接することができる人。
- ◆ 協調性があり、チームワークを大切に、力を合わせて一緒に努力ができる人。
- ◆ 専門職としての向上心を持ち続け、キャリアアップを図れる人。
- ◆ 様々な学びや経験をした、幅広い視野を持った人。

介護の仕事は、何歳からでも、資格がなくても、その人にあった色々な働き方ができます。
介護にちょっと興味があるという方は、施設やデイサービスのボランティアなどから始めることもできます。

介護は、専門性が高い仕事でもあり、経験を積み、資格を取ることで、年齢・性別・学歴に関係なく

＼ キャリアアップすることも可能です。 /

キャリアアップの一例

※取得する資格と、その時期は参考として記載しています。

特別養護老人ホームに介護職として入社。

1年目

- ・初任者研修修了
- ・1年間は日勤のみ。

介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級研修相当)

介護の基礎を学ぶ入門的資格。
初心者でも取りやすい。最短1ヶ月で取得可能。

2年目

- ・実務者研修修了
- ・夜勤あり

介護職員実務者研修

現場で活かせる実践的な知識と技術を習得する。
介護福祉士受験の実務経験コースでは受講が必須。

4年目

- ・新人指導係になる



介護のエキスパート的な資格であり、質の高い介護ができると認められます。この資格を取得すると、資格手当がつくことも多く、介護職員の指導的な立場を担うことが多くなります。

資格取得に対して、勤務先から費用面を含めて支援してもらえることも多いです。

6年目

- ・介護福祉士取得
- ・ユニットリーダーになる

国家資格 介護福祉士

養成校等を卒業するか、**実務経験3年以上+実務者研修を修了して国家試験受験資格を得る。**

8年目

- ・介護支援専門員取得

在宅高齢者のケアプランを立てるケアマネジャーになるには必ず要る資格ですが、施設で働く場合も持っている、役に立つことが多いです。
主任ケアマネジャーは、ケアマネジャーの指導的な立場になります。

公的資格 介護支援専門員(ケアマネジャー)

福祉の実務経験5年以上で、介護福祉士・社会福祉士等の資格を持っていれば受験可能。

都道府県への登録。
5年ごとに更新の手続きが必要。

12年目

- ・管理職になる

公的資格 主任介護支援専門員(主任ケアマネジャー)

5年以上の実務経験+研修受講で認定される。

介護の仕事は、高齢者を支えるだけでなく、昔からの知恵や知識を人生の先輩から学ぶことも多く、自分自身が人間的に成長できる仕事でもあります。

